



彫刻刀は3本だけ、残りの77本は腕の中にしまっているんですよ

終戦後の混乱していた時代、何かないかと考えていた時に富浦町に絵の上手な人がいることを知り、習いに行っていたのがきっかけです。



材料の孟宗竹は、房州にはたくさんありますからね。まず11月頃に油抜きをします。後で割れたり、カビが生えたりしますから、青竹ではダメなんです。その後、可性ソーダで煮込み、天日乾燥をして水分を抜く。皮をむいて磨きをかけて、材料が出来上がり。色づかいは墨と茶粉と呼ばれる塗料の2色から12色を表現します。彫刻刀は基本的に3本。この3本を角度や力の入れ具合を調節したりしながら、80種類以上の彫り方を使いわけています。残りの77本は腕の中にしまっているんですよ。(笑い)

館のサークルができています。中には埼玉県から通ってくる人もいました。公民館では楽しみながらやることを教えたいと思っています。一生のうちに、平家物語や源氏物語を題材にした作品を仕上げたい。今の悩みは忙しくてその時間がないことですね。

PROFILE

小林嘉一(敬舟)さん

孟宗竹に細かな彫刻をほどこし、わずか2色から12色の色合いを引き出す浮書絵彫家。この道、50年以上になります。地元はもとより、県内外に受講者を抱え公民館などで指導を行い、その普及に努めるなど、優れた伝統工芸の保持・発展に努めたとして、館山市伝統工芸家に登録されました。



シリーズ **市民** 伝統工芸家に登録されたよしかず けいしゅう 小林嘉一(敬舟)さん



人柱伝説がある
豊房の女堰



現在の女堰

館山湾へ注ぐ汐入川をさかのぼって中流までいくと、千倉大貫線に沿って女堰と呼ばれる水門があります。豊房の山間から汐入川へ集まってくる水をここで塞ぎ止め、用水路をつくって南条・上真倉・下真倉の水田へ灌漑しているものです。いつ頃にできたのかわかりませんが、江戸時代の宝永元年(一七〇四)には修理工事が行われているので、それより古いことは確かです。

す。むかしはこの堰を囲むように山萩や古茂口・南条などにも、それぞれ女堰や女関という地名がありました。かわった名前ですが、この地名の由来には、女性の人身御供の伝説が伝えられています。むかし、ここで川の塞ぎ止め工事を行おうとしましたが、何度工事しても、水流のために破壊され、その効果をあげることができませんでした。そこで関係地域の村人たちは、梓巫女(女性占い師)に依頼して、どうしたらよいのかと聞いたところ、『女性を堰留めに使おうべし』とのことでした。村人たちはまた相談をしましたが、村の中から人柱にする女性を出すことができないので、むしろ梓巫女を人柱にしようということになりました。そして梓巫女を捕らえて川に投げ入れ、堰を完成させることができたので、この名前があるのだということです。

たという伝説があります。オセキというのは本来、用水堀の水上げを終わらせた日の集会のこと、水の神である堰神を祭ることだといわれています。オセキ(御堰) オセキさん 女堰、なんとなく結びつくような。川は大雨や土砂崩れがあると増水して氾濫したり、堰を壊したりしてしまいます。そのたびに村人たちは、用水を直し、堰を直してきました。その繰り返しのおかげで生まれてきた人柱伝説なのでしょう。水の恵みをつける南条・上真倉・下真倉の村々では組合をつくり、水の分配方法を決めて管理し、毎年用水土手の修理も行ってきました。また用水のために用地を提供してくれる飯沼村には、領主からの補助で掘代として米を提供していました。生活を支える水を確保するための努力は当然のことながら、この地でもむかし、堰の神を信仰して、水に感謝してきたのではないのでしょうか。

12月の市立博物館の休館日は、3日、10日、17日、25日、29日、30日、31日です。

館山市行政改革3ヶ年計画の主な取組み

取組名称	取組内容(末尾のカッコ内は節減額)	実施年度
事務事業の見直しによる徹底した行政のスリム化	団体事務局業務の見直し	市が行っている各種民間団体の事務局業務を見直し、団体の自立運営化を促進(64万3千円--- 現時点で算出できる額)
	旅費の削減	有料道路通行料のハイウェイカードでの精算や日当の削減、出張時の公用自動車利用の促進により旅費を削減(2,514万8千円)
	市民センターの廃止	老朽化及び使用率が低下している市民センターを廃止
民間委託等の推進	簡易マザーズホームの民間委託	簡易マザーズホーム(心身障害児通所事業)を社会福祉協議会へ委託(節減額は「定員適正化計画の推進」の節減額に含まれる)
	老人福祉センター(湊)の運営の見直し・温水プールの管理・運営の見直し	老人福祉センター(湊)及び温水プール職員を非常勤職員化(節減額は「定員適正化計画の推進」の節減額に含まれる)
市民サービスの一層の向上	幼稚園・保育園の一元化の検討	保護者の育児の負担を軽減するため、幼稚園と保育園の一元化について調査・検討
	子育て支援策の充実	子育てを支援するため、子育て支援センターやファミリーサポートセンター(注1)を開設及び一部の市立保育園で延長保育を実施
	学校施設の有効活用(余裕教室の活用)	市内小中学校において余裕のある教室を地域に開放し、市民に有効活用してもらうため、余裕教室活用の基本方針を策定
財政健全化の推進	政策評価制度の導入	市民ニーズを的確に行政に反映させる政策評価制度を導入し、評価結果を予算や人事異動などに反映
	補助金等の見直し	補助金検討委員会を設置し、補助金等の見直しを実施
	普通財産の処分	活用されていない市の普通財産を積極的に売却(6千万円)
定員管理の適正化の推進	定員適正化計画の推進	「第2次定員適正化計画」(平成11~15年度)の前倒し達成と「第3次定員適正化計画」(平成14~18年度)の推進により、13年度に5人、14年度に6人、15年度に5人、16年度に4人の職員を削減。計20人の職員を削減(4億866万8千円)
人事・給与制度の見直しと職員の意識改革の推進	さわやか応援運動の実施	市民からよりいっそう親しまれる職員となるため、さわやか応援運動を実施
	行政組織における女性の意識向上	女性の声を市政に反映させるため、女性管理職を増やすとともに、審議会等の女性委員の登用率の目標を30%に設定
	給与の適正化(昇給停止年齢の見直し)	職員の58歳昇給停止を実施(332万8千円)
情報化の推進	観光情報(資源)のデータベース化	観光情報のデータベース化により、施設案内、花情報などの問い合わせに即座に対応、インターネットでも公開
	行政情報発信のための指針の策定	今まで以上に行政情報を外に向けて発信していくため、市として統一のとれた情報を積極的に提供することを目的とした「行政情報発信のための指針」を策定
市民と行政の協働	行政改革推進市民会議の設置	行政改革の進捗状況などに対して意見や助言を行う「館山市行政改革推進市民会議」を設置
	ボランティア窓口の一元化とNPOへの支援	ボランティア情報センターを設置し、ボランティア活動やNPO(注2)活動を支援
	ボランティアによる公衆トイレ清掃の実施	商工観光課が設置・管理している一部の公衆トイレにおいてボランティアによる清掃を実施(190万円)

注1 ファミリーサポートセンター=育児の援助を受けたい人と育児の援助を行う人がそれぞれ会員登録して助け合う組織。
注2 NPO(民間非営利団体)=ボランティアを含む組織構成員が利潤追求を目的としないで社会に対するサービスを提供する組織。

簡素で効率的な行政システムをめざして 館山市行政改革3ヶ年計画がスタート

市では、これまで毎年度計画を策定して、行政改革に取り組みてきましたが、さらに簡素で効率的な行政システムの確立をめざして、単年度で実施することが難しい長期的な改革に取り組むため『館山市行政改革3ヶ年計画』を策定しました。これは、昨年度「行政改革懇談会」から提出された『行政改革への提言』を受けて策定作業を進めてきたものです。市全体で81項目の改革を計画しています。その概要をお知らせします。

行政改革ってなに？

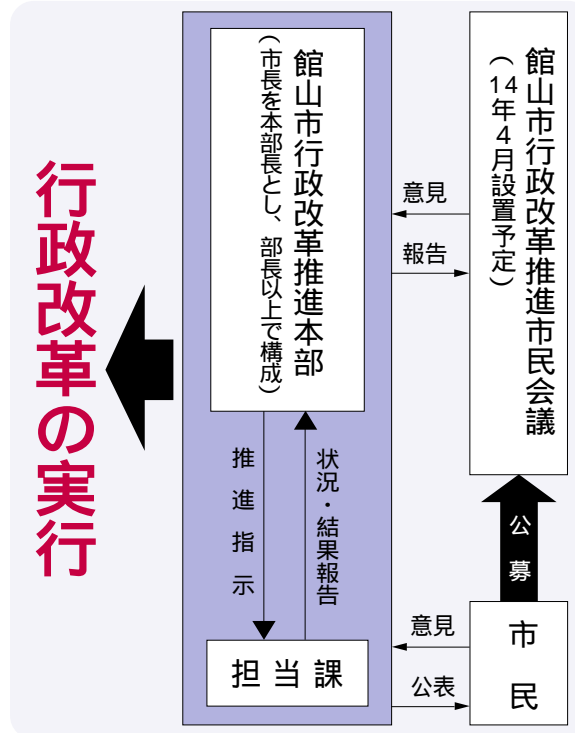
行政改革は、市が実施している事業を取りやめたり、やり方を変えたり、組織を見直すなどして、経費を削減したりすることです。

数値目標の設定

改革の目標を明確にするため、できるだけ数値目標を設定しました。81項目の計画の内52項目に数値目標を設定し、節減目標額は、総額で7億6千451万円としました。

市民とともに進める行政改革

公募委員を含む市民代表で構成する「行政改革推進市民会



行政改革の実行

議を設置して、進捗よく状況などに対して意見や助言などをいただき、常に業務の再点検を行います。各計画の目標、進捗よく状況

問合せ/総務課(☎22 3 1 1 内線 526) Eメールアドレス sounmuka@city.tateyama.chiba.jp

狂牛病で困る 中小企業に融資

千葉県では、9月に県内で牛海綿状脳症(BSE)、いわゆる狂牛病)が発生したことで、売上げに影響を受けている中小企業を対象に融資制度を創設しました。

融資対象/県内に事務所・事業所があり、一年以上引き続き同一事業を営む中小企業または組合で、次の要件にあてはまる人。いわゆる狂牛病の発生で事業活動に影響をうけている食料品製造業・卸・小売業、飲食店、飼料製造業・卸・小売業などを営んでいる人。今年9月以降のいずれかの月の売上高が、前年同月の売上高または今年6月から8月までの月平均売

融資条件
融資利率/年2.0%(固定金利)
資金使途/運転資金(融資対象にならない使途が一部あります)
融資限度額/1中小企業者3千万円以内・1組合6千万円以内
融資期間/7年以内(うち据置期間1年以内)
受付期間/平成14年3月31日まで
問合せ/県庁経営支援課(☎043 223 2707)または商工会議所、銀行・信用金庫、信用組合

「私の子育て」講演会

館山市コラーラ会議では、「私の子育て」と題して講演会を開催します。

講師自身の経験談、失敗談、親と子の悩みなどの講演後、参加者との話し合いを行います。

当日、直接会場にお越しください。会場では、保育室も

用意しています。
日時/11月22日(木)午前10時~正午
場所/南総文化ホール大会議室
講師/飯島マルチー又氏
演題/「私の子育て」
問合せ/企画課女性施策担当(☎22 3 1 1 1 内線 514)

市職員の給与・定員管理を公表



定員の適正化を進めています

市職員の給与の概要と平成11年度から平成15年度までの5年間で進めている「定員適正化計画」(平成10年度策定)による市職員の定員管理の状況についてお知らせします。
 数値は平成13年4月1日現在のものです。
 問合せ / 総務課人事係 (☎22 3111内線523)



地方公務員の給与は、地方公務員法により、生計費や国・県・他の市町村の給与、民間企業従業員の給与などを考慮して定められています。館山市職員の給与は「給料」と「職員手当」からなります。

給与の内容

毎月決まって支給される給料の他に、実績に応じて支給される時間外勤務手当や臨時に支給されるいわゆるポーターなどの手当があります。

毎月決まって支給

給料/職務の種類や内容に応じて給料表に定める額(基本給)

扶養手当/扶養親族のある職員に支給

調整手当/地域給に相当する手当

住居手当/借家などに住んで家賃を支払っている職員、または自宅に住んでいる職員に対し支給
 通勤手当/電車、バス、乗用車などで通勤する職員に支給
 その他/管理職手当

実績に応じて支給

時間外勤務手当/通常の勤務時間を超えて勤務したときに支給

特殊勤務手当/著しく危険、不快、不健康、困難その他特殊な勤務に従事したときに支給

その他/夜間勤務手当や休日直手当など

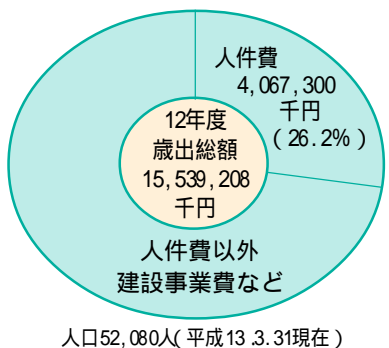
臨時に支給

期末・勤勉手当/民間企業のポーターに相当する手当
 退職手当/職員が退職するときに支給

人件費の状況

平成12年度普通会計に占める人件費の状況は、次のとおりです。実質収支(純剰余金又は純損失)は、5億4千200万円の黒字でした。

平成11年度の人件費の割合は24.6%でした。人件費には特別職に支給する給料、報酬などを含んでいます。
 (注)普通会計とは、それぞれの市町村の財政比較をするために財政統計上用いられる会計区分です。館山市では、一般会計と学童災害共済事業特別会計がこれにあたります。)



職員給与と費(普通会計)

市の全職員は、479人です。次の表の職員数455人は普通会計職員で、下水道と介護保険の特別会計事業の職員が除いてあります。

職員手当には、退職手当は含まれていません。給与費は13年度当初予算額です。

平均給料 国は12年4月1日現在)

一般職	館山市	367,498円	42歳 6ヵ月
行政職	国	326,106円	39歳 9ヵ月
技能職	館山市	306,985円	44歳 10ヵ月
労務職	国	289,315円	47歳 9ヵ月
教育職	館山市	366,606円	42歳 4ヵ月

平均給与(館山市)

一般行政職	433,292円
技能労務職	360,582円
教育職	382,976円

平均給料と平均給与

給与月額、月々支給される給料と職員手当(期末、勤勉手当、退職手当を除いたすべての手当)の合計です。教育職は、幼稚園教諭のことです。

平成13年度職員数(A)	455人
給料	1,956,946千円 (63.3%)
職員手当	281,573千円 (9.1%)
期末勤勉手当	853,522千円 (27.6%)
計(B)	3,092,041千円
1人当たり給与費(B/A)	6,796千円

職員の初任給

学校卒業後すぐに採用された人の初任給と、引き続き2年勤務したときの給料月額です。

初任給

大学卒	館山市	181,400円
国	174,400円	
高校卒	館山市	146,500円
国	141,900円	

2年経過日給料額

大学卒	館山市	203,800円
国	188,900円	
高校卒	館山市	157,700円
国	151,800円	

国は(種)

職の級別 職員数

給与条例に基づく給料表の級区分による職員数です。技能労務、委員会、税務、看護保健、医療技術、企業、保育各職員は含みません。各級の職務内容欄は、各級の主な職名です。

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	9級	計
職務内容	主事	主事	主任主事	主査	係長	主幹補	課長補佐	課長主幹	部長参事	—
職員数	16人	43人	18人	71人	43人	39人	32人	24人	9人	295人
構成比	5.4%	14.6%	6.1%	24.1%	14.6%	13.2%	10.8%	8.1%	3.1%	100%
1年前の構成比	4.1%	14.9%	31.1%	16.2%	11.5%	11.1%	8.1%	3.0%	100%	
5年前の構成比	4.2%	20.8%	29.2%	13.0%	10.7%	11.4%	8.8%	1.9%	100%	

昇給期間の短縮

区分	合計	一般行政職	技能労務職	教職員	
11年度	職員数(A)	490人	385人	67人	38人
	普通昇給期間(12~24月)を短縮して昇給した職員数(B)	30人	17人	12人	1人
	比率(B/A)	6.1%	4.4%	17.9%	2.6%
12年度	職員数(A)	483人	384人	64人	35人
	普通昇給期間(12~24月)を短縮して昇給した職員数(B)	42人	30人	12人	人
	比率(B/A)	8.7%	7.8%	18.8%	%

学歴別 平均給料

区分	経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年	
一般行政職	大学卒	287,600円(10年)	340,300円(15年)	407,400円(20年)
	高校卒	227,600円(10年)	該当なし	331,900円(16年)
労務職	高校卒	203,150円(6年)	227,600円(7年)	該当なし

特別職の報酬等

採用され、引き続き勤務している採用後の年数。
 採用前の民間歴などある場合は、その期間を換算し採用後の年数に加えた年数です。
 ()内は、市職員としての在職年数。

区分	報酬等月額(8年4月1日適用)	期末手当(12年度支給割合)
市長	865,000円	6月期 2.05月分
助役	734,000円	12月期 2.15月分
収入役	684,000円	3月期 0.50月分
議長	426,000円	計 4.70月分
副議長	385,000円	
議員	359,000円	

職員手当

期末・勤勉手当は、民間の賞与などの特別給に相当するものです。
 退職手当は、一部の市を除き、県内各市町村が同一支給率です。

定員適正化計画の年次別進捗状況(実績)の内訳【一般行政部門】

(各年4月1日)

区分	手法(事由)概要					
	10年 計画前年	11年 1年目	12年 2年目	13年 3年目	11~13年 計	
議会	減員 増員 差引 職員数					減員理由: 増員理由:
総務企画	減員 増員 差引 職員数	2 3 1 91	2 3 1 92	1 3 0 93	5 7 2 93	減員理由:庁内案内民間委託、交通・防犯事務見直し、ウエルネスリゾートパーク計画などの事業見直し、新総合計画などの策定完了 増員理由:新総合計画など策定、財政再建化計画策定、企画部参事の設置 情報化推進室の機能強化
税務	減員 増員 差引 職員数		1 1 1	1 1 1	1 2 1	減員理由:介護保険関連業務(課税事務など)職員の公営企業等会計部門への異動 増員理由:介護保険制度関連業務の増、納税推進室新設に伴う室長設置
民生	減員 増員 差引 職員数		3 4 1	5 3 2	7 7 8	減員理由:保育士・老人福祉センター職員退職不補充、介護保険制度の事前準備の終了、介護保険関連業務(介護認定など)職員の公営企業等会計部門への異動、年金関連事務の見直し 増員理由:介護保険制度関連業務の増、幼稚園教諭から保育士への職種変更
衛生	減員 増員 差引 職員数		1 1 1		2 1 1	減員理由:派遣職員の引き上げ、し尿など搬入受付事務などの見直し 増員理由:環境施設センターの老朽化に伴う点検・補修などの増加
労働	減員 増員 差引 職員数					減員理由: 増員理由:
農林水産	減員 増員 差引 職員数		1 1 0	1 1 1	2 2 0	減員理由:農政業務増に伴う漁政業務職員の異動、農地情報管理システム導入 増員理由:農業振興地域整備計画見直しに係る業務増、観光農漁業推進室の新設
商工	減員 増員 差引 職員数		1 3 2	2 1 1	3 4 1	減員理由:商工業務増に伴う観光業務職員の異動、国民宿舎「鳩山荘」精算業務等の完了 増員理由:経済振興施策業務の増
土木	減員 増員 差引 職員数		2 2 2	5 3 2	6 6 7	減員理由:用地買収・土地区画整理事業などの都市計画部門の進捗、駅舎建設精算業務の進捗に伴う減 増員理由:「海辺のまちづくり事業」推進に伴う推進室の新設などによる増、県土木事務所派遣に伴う増
計	減員 増員 差引 職員数		10 12 2	15 11 4	16 29 12	41 29 12
	職員数	379	381	377	367	

定員適正化計画の年次別進捗状況(実績)の概要 (各年4月1日現在)

部門別職員数の状況と主な増減理由 (各年4月1日現在)

部門	区分	職員数					対前年 増減数	主な増減理由
		10年 計画前年	11年 1年目	12年 2年目	13年 3年目	11~13年 計		
一般行政	減員		10	15	16	41		
	増員		12	11	6	29		
	差引		2	4	10	12 (109%)		
	職員数	379	381	377	367		368	
特別行政	減員			2	1	3		
	増員				1	1		
	差引			2	0	2 (67%)		
	職員数	82	82	80	80		79	
公営企業等	減員		6	1	3	10		
	増員					8		
	差引		6	1	5	2 (33%)		
	職員数	34	28	27	32		28	
計	減員		16	18	20	54		
	増員		12	11	15	38		
	差引		4	7	5	16 (80%)		
	職員数	495	491	484	479		475	

計画期間は平成11年から平成15年の5年間。
(%)の数値は、数値目標に対する進捗率を示す。

職員数は一般職に属する職員数であり、地方公務員の身分を保有する休職者、派遣職員などを含み、臨時又は非常勤職員を除いている。

職員手当

区分	全職種		支給対象地域	全域	11年度	支給総額	122,612千円	
	職員全体に占める手当 支給職員割合	38.1%						
特殊勤務手当	支給対象職員1人当たり 平均支給年額	73,727円	調整手当	支給率	2%	職員1人当たり 支給年額	250千円	
	手当の種類(手当数)	13		支給対象職員数	478人			
12年度	代表的な手当 の名称	支給額の多い 手当 多くの職員に 支給されている 手当	調整手当	国の制度(支給率)	—	12年度	支給総額	156,600千円
		清掃作業等従事手当、保育園業務 手当、社会福祉業務手当 保育園業務手当、税務手当、清掃 作業等従事手当		支給対象職員1人当たり 平均支給年額(12年度)	87,698円			

区分	館山市		国	
	期末	勤勉	期末	勤勉
扶養手当	配偶者	16,000円	配偶者	16,000円
	配偶者以外の扶養親族 2人まで	1人 6,000円	配偶者以外の扶養親族 2人まで	1人 6,000円
	3人目から	1人 3,000円	3人目から	1人 3,000円
	16歳~22歳までの 子の加算	1人 5,000円	16歳~22歳までの 子の加算	1人 5,000円
住居手当	借家 (家賃12,000円を超えた場合) 家賃の額に応じて27,000円 を限度に支給 自宅 4,300円		借家 (家賃12,000円を超えた場合) 家賃の額に応じて27,000円 を限度に支給 自宅 1,000円(新築・購入後 5年間は2,500円)	
	電車・バスの利用 定期代全額支給 乗用車等を利用 使用距離に応じて、2,000円 から32,330円を支給		電車・バスの利用 定期代45,000円まで全額支給 それを超える部分は半額支給 (5,000円を限度) 乗用車等を利用 使用距離に応じて、2,000円 から20,900円を支給	
退職手当	館山市 (12年度支給割合) 期末 勤勉 6月期 1,45月分 0,6月分 12月期 1,60月分 0,55月分 3月期 0,55月分 計 3,60月分 1,15月分		国 (12年度支給割合) 期末 勤勉 6月期 1,45月分 0,6月分 12月期 1,60月分 0,6月分 3月期 0,55月分 計 3,60月分 1,15月分	
	職務上の段階、職務の級等による加算措置:有		職務上の段階、職務の級等による加算措置:有	
通勤手当	館山市 (支給率) 自己都合 勤奨・定年 継続20年 21,0月分 34,65月分 継続25年 33,75月分 44,55月分 継続35年 47,5月分 62,7月分 最高限度額 60,0月分 62,7月分		国 (支給率) 自己都合 勤奨・定年 継続20年 21,0月分 28,875月分 継続25年 33,75月分 44,55月分 継続35年 47,5月分 62,7月分 最高限度額 60,0月分 62,7月分	
	退職時特別昇給 1号給 その他の加算措置:国と同じ 1人当たり平均支給額 26,389千円 (前年度退職した人の平均支給額)		退職時特別昇給 1号俸 その他の加算措置 定年前早期退職特例措置 2%~20%加算	

定員適正化計画の状況

平成8年度に「第1次定員適正化計画」(平成9年度から13年度)を策定し、組織機構の簡素合理化、事務の見直し、O A化の推進、民間への委託などを実施しました。

その結果、平成10年度までのわずか2年間で45人を削減(計画では43人減)し、目標を達成しました。

数値目標

平成8年度に「第1次定員適正化計画」(平成9年度から13年度)を策定し、組織機構の簡素合理化、事務の見直し、O A化の推進、民間への委託などを実施しました。

その結果、平成10年度までのわずか2年間で45人を削減(計画では43人減)し、目標を達成しました。

手法の概要

計画では、組織・機構改革を実施する中で、職員の能力開発と非常勤職員の活用、民間委託を進め、職員数の削減を図っていきます。

また、適正配置、事務の効率化をはじめ、経常的に事務事業の見直しを図りながら、公務効率の向上に努め、地方分権の進展に伴う行政需要の多様化・高度化に対応していきます。

進捗状況

平成15年までの5年間で20人の減員を進めようとするこ

の計画は、1年目に国民宿舎「鳩山荘」の廃止などにより4人を減員。2年目には、土地区画整理事業などの進捗や介護保険制度の導入準備が終了したことで7人を減員。3年目には、都市計画部門の事務事業見直し、公共下水道関連工事の減少に伴い5人を減員。3年目の計画目標を達成しています。

今後とも質の高い行政サービスを提供する基盤を確立し、効率的な行政運営を推進していくため、事務の効率化、少数精鋭化により、定員管理に努め、人件費の削減をめざし努力していきます。

一般行政部門では、職員数の削減が今後も必要なことから「第2次定員適正化計画」(平成11年度から15年度)を平成10年度に策定しました。経済振興施策などの充実に伴い、増員される部門も予測されますが、新採用職員の抑制などにより、職員数の大幅な増員を抑え、5年間で、各部門全体の4%にあたる20人の削減を図っていきます。

第14期青少年相談員決まる

地区の子どもたちといっしょに活動！

先月1日から第14期青少年相談員がスタートしました。今期の青少年相談員は103人。平成16年3月までの2年半、写生大会や球技大会などを通じて、子どもたちと活動します。各地区の担当は次のとおりです。

問合せ/生涯学習課(☎22 3111 内線662)



田中武明会長

今でもあいさつしてくれる

もが悔しくて泣いたり、がんばる姿は、こちらもジーンとしますね。今期の会長ということですが、地域のボランティアに意欲的な人、子どもたちとの親睦を深めたい人など意欲的な地区の会長さんが多く、頼もしく感じています。地区によって活動内容も違いますが、いろいろアイデアを出し合って、子どもたちといっしょに活動していきたいですね。

(大賀・里見)

北条地区/小形孝雄(南町)、山谷暢俊(神明町)、吉野雅彦(新宿)、川上元延(三軒町)、鶴ヶ谷・新鶴ヶ谷、鈴木敏雄(清)、望月昇(六軒町一・二)、松永寿一(六軒町三・四)、石井成道(六軒町五)、小倉達也(六軒町六・七・北条海岸)、鈴木純(長須賀一・八)、岩井浩之(長須賀一・八)、樋口久美子(長須賀一・八)、鶴賀廣武(八幡一・二)、森徹(八幡三・四)、本多孝之(湊)、豊崎由美(湊団地)、高橋守(高井)、関浩真(上野原) 那古地区/渡辺恭正(東藤)、飯田勝己(宿・寺赤)、鈴木誠一(中浜・大浜・桜ヶ丘)、浅沼由美子(大芝)、山田豊(辻・芝崎)、鈴木勇人(川崎)、庄司康男(正木上・下・向)、粕谷敏明(正木岡・稲原・小原)、渡邊清隆(西郷・亀ヶ原)、田中武明 船形地区/高尾稔(堂の下)、加藤茂男(堂の下)、長谷川秀徳(東)、藤田紀洋(仲宿)、鈴木俊明(西)、倉持久弥

(根岸)、鈴木誠(川名・川名岡)、鈴木雄一(大塚)、竹山傑(柳塚) 西岬地区/鈴木真広(香)、鈴木昇(塩見)、竜崎康二(浜田)、獅子口喜一(見物)、本田昭一(早物・加賀名)、佐野聖一(波左間)、石橋進一(坂田)、北山茂樹(洲崎)、飯田政春(西川名)、吉田公紀(伊戸・根本)、山田幸雄(坂足・小沼・坂井) 神戸地区/庄司誠大(神宮)、嵯川典明(中里・松岡・竜岡)、島田卓(石)、小林郁郎(犬石)、保田好幸(佐野)、鈴木泰史(藤原・谷藤原)、渡邊照和(洲宮・茂名)、本橋彰(布沼) 富崎地区/嶋田信子(神田町・本郷)、吉田誠士(向)、真田和也(松崎)、鈴木祐介(二斗田)、安田和江



豊房地区/安西明之(東長田)、鈴木浩之(西長田)、鈴木美智代(出野尾・岡田)、植木和男(大戸)、福原伸一(南条)、宮本和則(飯沼・古茂口)、川名伸司(山萩・作名)、早川芳文(畑)、宇山静夫(神余)、中間勝幸(神余) 館野地区/櫻井保志(大網)、中山哲也(安布里)、山口勉(山本一)、小原嘉明(山本二・三)、石田行雄(国分北・萱野団地)、飯田朗(国分中・南)、正木昭弘(稲)、渡邊実千夫(腰越)、伊藤昭彦(広瀬) 九重地区/田中栄一(宝貝・南台・北台・清水)、赤松信(安東・岩川)、平柳光夫(二子)、山本俊樹(園・水玉)、太田喜明(大井)、齊藤広男(田村・相賀)、鈴木元滝(谷・横枕)、西蔵秀治(田辺・江田)

里見ウォーキング

里見の歴史を足で知る

戦国武将里見氏ゆかりの地を歩いて訪れる「里見ウォーキング」が先月14日に行われ、都内や市川市などから親子づれやグループなど約220人が参加し、約15kmのコースをそれぞれのペースで歩きました。このウォーキングは、初代里見義実から10代に渡り、房総地域を支配した里見氏の遺跡や資料を自分の足で探し、発見しながら館山を楽しんでもらおうと、「南総発見ウォーラム実行委員会」が企画し、市観光協会がPRなどを担当しました。

ていねいに答えていました。品川からやって来た里見雅行さん、雄太郎(小4)くん親子は、駅でチラシを見てこのイベントに参加。雅行さんは「父親が里見氏発祥の地、群馬県出身で近所には里見の姓がたくさんあります。里見には以前から興味がありました」と、汗をぬぐいながら話していました。



環境・道路・観光 スポーツ施設

市長に質問!

市内の中学3年生が議員として、市長に質問する第3回中学生模擬議会が、先月15日、市役所議場で行われました。

この日市内4つの中学校から代表93人が議場に集まり、14人が議員席から市長らに質問をしました。

市の環境問題について取り上げた曾我香(一中)さんは「市の公用車などもアイドリングしていることがあるが、これからやめるように指導す



コミュニティ事業で 屋台完成



山本区ではこのほど、(財)自治総合センターの宝くじ普及広報事業による助成を受けて屋台を建造しました。総事業費は約千300万円。そのうち250万円が助成によるものです。

宝くじ普及広報事業は、コミュニティ活動の健全な発展を図ろうとするものです。問合せ/社会安全対策課 コミュニティ係(☎22 3111 内線564)

取り組みをしていますか?」と再質問する場面もありました。

今回議長を務めた吉田守継(二中)君は「予定どおり進行してホッとしました。議場の雰囲気は厳粛でも緊張しませんでした。でも質問者の方がもっと緊張していたでしょうね」と話してくれました。

南房総最大級
バイパスの橋に名前をつけて
コミセン脇の跨線橋 名称募集

千葉県と市は、現在、コミュニティセンター西側に建設中の国道410号北条バイパス（仮称）北条跨線橋の名称を募集します。

このバイパスは南総文化ホール北側の国道128号から上真倉地先までの全長2・3kmの道路です。そのうち、主要地方道館山白浜線と接続する1・48kmが来年度内の開通をめざし、整備が進められています。県道館山大貫千倉線や主要地方道館山白浜線、都市計画道路青柳大賀線と交差することで、市内の渋滞緩和が期待されています。

JR内房線や境川、市道をまたぐ全長294m、幅員11・8m、南房総最大級の橋です。



応募方法／ハガキに名称、理由、住所、氏名、年齢、性別、電話番号を記入して応募先まで。資格はありません。1人何点でも応募できますが、ハガキ1枚に1点とします。

発表／選考結果は本人に通知するほか、新聞、広報などで発表します。優秀作品応募者には同バイパスの開通式典で記念品を贈呈します。

公設地方卸売市場に係る都市計画の案を縦覧
館野の稲地区に計画している公設地方卸売市場に係る都市計画の案の縦覧を行います。

縦覧期間／11月2日から11月15日まで（土、日、祝祭日を除く）
縦覧時間／午前9時から午後5時まで
縦覧場所／都市計画課
問合せ／都市計画課都市計画係（☎22 3111内線462）

印有効
問合せ・応募先／都市計画課街路係（☎22 3111内線464）

農業所得の計算は
収支計算で！
農業所得の算出方法の相談会

昨年の申告から農業所得標準が廃止され、農業所得も他の事業者と同じく、総収入から必要経費を差し引いて所得金額を算出し、この額で課税されることになりました。このため、収入金額・必要経費など記帳・記録保存が必要になります。

まずので、収支計算による農業所得の算出方法について、質問などがある人は、各会場においでください。

農業所得の算出方法の相談会

日程	時間	場所	対象地区
11月26日(月)	9:30~12:00 13:00~16:00	館野地区 公民館	館野地区
11月28日(水)		九重地区 公民館	九重地区
11月30日(金)	9:30~12:00	豊房地区 公民館	豊房地区
12月4日(火)		西岬東地区 公民館	西岬地区
12月6日(木)	13:00~16:00	那古地区 公民館	那古・船形地区
12月10日(月)		神戸地区 公民館	神戸地区
12月12日(水)	9:30~12:00	館山地区 公民館	館山地区
12月14日(金)		コミュニティセンター	北条地区

千葉県警察では、逃走中の指名手配者逮捕のため、今月、全国の警察の総力を挙げて、追跡捜査を行います。

告者)を対象に平成13年分年末調整等説明会を開催します。給与事務担当者の出席を呼びかけています。

人権に関する相談はこちらへ

人権擁護委員は、人間が平和に生きていく上で、もっとも大切な権利を守るため、人権思想

北条2137	☎22	0724
北条1942-3	☎22	3656
宮城1039	☎22	5001
館山1324	☎23	5503
下真倉697-3	☎22	7763
船形871-4	☎27	4036
北条1534	☎22	0118
北条589-3	☎22	4680

市内の人権擁護委員

青木紀夫さん 鈴木純也さん



青木紀夫さん 鈴木純也さん

人権問題についての相談は、各人権擁護委員または、千葉地方方法務局館山支局（☎22 0620）まで。

あなたの相談に応えます
弁護士があなたの相談に応えます。相談は無料ですが、あらかじめ予約と相談内容をご連絡ください。先着8人で締め切ります。

寝たきりの人に歯の健診
市内に在住する人で、寝たきりや在宅身障害で、歯科医療機関に通院できない人を対象に歯科医師などが各家庭をうかがって、歯周疾患や義歯の調整などの応急措置、口腔清掃などの保健指導を行います。

実施期間／11月～12月の木曜日
締切／11月12日(月)までに電話で
問合せ・申込み／健康管理課（☎23 3113）

いい本あるある
17日・18日は図書館まつり

図書館では、11月17日(土)～18日(日)に図書館まつりを開催します。

問合せ／市図書館（☎22 0701）

本のリサイクル市
市民のみなさんから集まった不要になった童話や絵本、小説、実用書など約8千冊を無償でお譲りします。

場所／図書館ロビーと図書館前駐車場
児童のための郷土資料展
安房や房総について、小中学生向けに書かれた資料を展示します。

場所／図書館ロビー
子どもおはなし会
内容／腹話術「しんちゃんらびとをすくったほし」「そらとぶてんぐ」(予定)

日時／12月14日(金)午後6時15分開演
場所／南総文化ホール
司会／峰竜太、小湊美和
出演／小沢千月、山本謙司、湯浅みつ子、平野啓子ほか
入場方法／往復ハガキの往信用裏面と返信用表面に郵便番号、住所、名前(往信用裏面には電話番号も)を記入して、文化ホールまで。応募多数の場合は抽選。未就学児、乳幼児の入場はご遠慮ください。



子ども映画会
内容／千葉の昔話から「むらびとをすくったほし」「そらとぶてんぐ」(予定)
日時／11月18日午後2時
場所／図書館集會室